

11/22(水)vs 王子製紙 3 回戦(帯広の森アイスアリーナ)

2-1(1-0,0-1,1-0) G18 A3.71 G17 A11.71

年に1回の帯広開催、しかも相手はライバル王子製紙。ということもあって開場前のアリーナには長蛇の列ができていた。待ちに待ったフェイスオフ、前2戦でSEIBUと引き分け復調気味の王子、霧降でバックスにクレインズのクレインズ。一進一退の攻防が続く。そんな均衡を破ったのは帯広出身、アジアのエースま～しゃ(#18)、1ピリ6分過ぎにゴールを決め、ガッツポーズを見せる。エースのゴールに第5セットも気合が入る。2ピリに追いつかれるも、リックに響く子どもたちの声援、新しく取り入れた「絶対勝つぞクレインズ」コールがクレインズを盛り立てる。そして3ピリ4分、「このリンクでプレーするのは白樺学園時代以来」と言っていた帯広出身のよっち(#17)がゴールを決めた。見事な凱旋ゴールでクレインズはリード。終盤、ペナルティが目立ち、王子に怒涛の攻撃を仕掛けられるも次郎を中心とした守りで逃げ切り、これで9連勝。対王子戦は昨年1月の苫小牧から引き分けを挟んで11連勝。シ



帯広出身の“よっち”

ンジレナイ!!さてこの日のゲーム開始前には試合中の不慮の事故により亡くなった白樺学園高校の生徒の冥福を祈るため黙祷が行われた。クレインズのゴールをあげたま～しゃ(#18)、よっち(#17)はともに白樺学園出身。惜しくも亡くなった後輩の菩提を弔うかのようなゴールであった。(松坂)

11/25(土) vs 長春富奥 3 回戦(長春)

6-2(2-1,1-1,3-0) G18 A3 G18 G23 G18 A3.20 G23 A2 G23

中国遠征第二弾ということで長春に遠征したクレインズ。立ち上がり相手に先制点を決められるものの、今日の主役はこの2人、東洋大黄金時代を築き上げたヒデ(#23)とま～しゃ(#18)。ま～しゃは持ち前のセンスで、ヒデは力強いワイルドなチェックだけではないところを見せつけ、両者がハットトリック。守りは2失点と課題は少々残るものの、中国遠征初戦を危なげなく白星で飾った。(松坂)

11/26(日)vs 長春富奥 4 回戦(長春)

10-5(4-2,3-2,3-1) G3 A24 G24 A20.18 G2 A3.18 G11 A32.17 G2 A20 G24 A18.3 G32 A17.7 G32 A2.11 G18 A20.24 G18 A20.24

2戦目は史郎(#27)、ライオン(#71)、大輔(#34)、次郎(#30)がお休み。それでも開始早々から賢吾(#3)のシュートが決まりクレインズペースに持ち込むと、ゴマ(#24)、潤(#2)、西脇(#11)、プリンス(#32)、ま～しゃ(#18)が得点を決め2桁得点。格下相手とはいえ、潤は新人王、ま～しゃは得点王に向けての重要なゴールを叩き出した。守りはマスクをかぶった央が久々ということもあり、DFとの連携もイマイチだったのか5失点。央よ、早く次郎を脅かす存在になってくれ!!

ドイツカップ報告

11月9日から12日、ドイツのハノーバーで行なわれたドイツカップに日本が初参加した。クレインズからは賢吾(#3)、大澤(#23)、西脇(#11)、飯村(#17)の4人が代表に選ばれた。他の参加国はドイツ、スイス、カナダ、スロバキア、ラトビア。3カ国ずつが2つのグループに分かれ、グループ内で総当たり制の予選を行い、その順位を元にして最終日に優勝決定戦、3位決定戦、5位決定戦が行われる。日本はドイツ、スイスと同じグループ。初戦のドイツ戦、日本はドイツと互角が、そ

れ以上の戦いをして、終了2分前まで4対3とリード。だが、残り2分間で逆転され、4対5で敗れた。続くスイス戦でも第1ピリドは互角の戦いをして先制点をあげるが、その後はスイスに押され、1対4で敗北。最終日のラトビアとの5位決定戦も1対4で敗れ、6位に終わった。クレインズ勢はドイツ戦で西脇、大澤、飯村がそれぞれ1アシスト、ラトビア戦で賢吾、飯村がそれぞれ1アシストしている。最終順位は、1位スロバキア、2位スイス、3位カナダ、4位ドイツ、5位ラトビア、6位日本。なお、日本以外の参加国はすべてトリノ五輪出場組だが、今回はNHLをはじめとする北米リーグのレギュラー選手は出場していない。

このレポートはインターネットで収集した情報を元にしてしています。(Jun)

クレインズ戦士 コラムシリーズ第3弾 No.32 竹内元章



88年の入団以来、19シーズン目(1年間カナダ留学)を迎えた竹内元章選手(#32)。十條製紙時代を知る数少ない選手の一人だ(他に小林弘明選手(#22)。そんな彼がリーグ開幕直後の10月1日対ハルラ2戦目、相手選手との交錯で右足靭帯の部分断裂という不幸に見舞われた。日本リーグデビューシーズンには新人王、第36回日本リーグではアシスト王、そして現在のクレインズが毎年プレーオフ進出を確実視されるなかで、万年Bクラスと言われた十條製紙時代、チームをAクラスに引き上げた原動力でもある。過去に5年間キャプテンを務め、言葉ではなく行動で示しチームを引っ張ってきた。その彼も今年で37歳。長くプレーする影で、食生活や体のメンテナンスにも余念がない。未来のクレインズ選手を夢見る子供達にもぜひ見習ってもらいたいものだ。状況判断に優れ、ここぞという時にはベテランならではのプレーが光る。これこそが女性のみならずおじさまファンの心を揺さぶるのだろう。「今シーズンはチーム数が減ったと同時に試合数も減りました。僕にとってはここ数年、1年1年が勝負の年です。チームに貢献出来ていない分、復帰後は来シーズン、そして更に次のシーズンも必要とされるよう頑張りたいですね!結果を残すのみです!!」と話す。プレーイングコーチとしても2年目を迎え、チームにとって更に欠かせない存在であることは間違いない。状況次第ではスペシャルセットへの起用もあり得るだろう。そして11月18日バックス戦でファンが待ち望んだ復帰戦、見事ゴールを決めた。今季こそチームを優勝に導いてくれ!!目指すは「アジアリーグ制覇・全日本制覇」だ!!最後に、クールに見られがちな彼が「出来れば今1歳になった息子に、僕がプレーしていた姿を覚えていてもらえるくらい長くプレーしたいですね!!」そう言って優しいパパの一面ものぞかせた。

つるっ子通信 2006-2007 Vol. 6(発行 06.12.02)
 作成(つるっ子&つるっ子 ML組)
 連絡先 〒084-0905 釧路市鳥取南2丁目1番47号
 日本製紙 釧路工場 工務部保全課 寺山博道
 TEL 0154-52-7619 Eメール cranes@horae.dti.ne.jp
 HP「クレインズだよ全員集合」 <http://www.horae.dti.ne.jp/~cranes/>
 携帯掲示板 <http://www.pstown.com/bbs03/i01.cgi?room=terayama>
 メールマガ「居酒屋つるっ子」 <http://mini.mag2.com/>

